

四回月の講演会

私は今日の講演会で震災のお話を聞くのは  
四回目になりました。同じ話でも同じではな  
く、毎回感じたことは違っています。

今回は、やはり震災のことは頭に刻みこま  
なければいけないかと思いました。三好さん  
も名倉さんも「忘れなさい」という言葉を特  
に大切にしておられました。風化していくの  
は、悲しいことだと思います。たくさんの人

神戸海星女子学院小学校

が亡くなっ、て苦しんで、それでも生きてきた  
ことを忘れては、また同じかそれ以上の悲し  
みが生まれると思います。

震災はくり返す、と学びました。だから、  
悲劇くらいは減らせるように、震災の記憶を  
忘れず、語り継いでいきたいと思います。

## 震災講演の感想

私は、今日の震災講演を聞いて、地震の怖さを知りました。私は、今まで大きな地震を経験したことがないので、ここら辺は、地震が来ても大丈夫だろうと油断していました。しかし、今日のお話を聞いて、地震によってたくさんの方の命が奪われたことを改めて知り、地震を他人事ではなく自分事としてとらえようと思いました。また、南海トラフ巨大地震にも備えて自分の命は守れるように、気を付けたいです。

時を経るにつれて、阪神・淡路大震災のこと忘れられていかなないように、私も、次の世代に地震のことを伝えていこうと思います。

震災講演から学んだこと

私は今日、震災の話聞いて学んだことが  
二つあります。

一つ目は、自分が被災していなくても震災  
のことを忘れず、よりよい、後世に伝えてい  
くことが大切だということです。阪神・淡路  
大震災や能登半島地震など大きな地震で学ん  
だことを活かしていくことが大切だと思いま  
した。

神戸海星女子学院小学校

二つ目は、亡くなった方々の分まで一日一  
日を大切に生きていくということです。私と  
同じとしの子どもたちやもつと小さい子もた  
くさんの方がぎせいになつたことを知りまし  
た。これからは、その人たちの分まで毎日を  
大切に生きていこうと思いました。

今日学んだことを心に留めて、地震を忘れ  
ずに、一日一日を大切に生きていきたいと思  
いました。

私は今日の震災講演を通して私達が覚えて  
つないでいくという事を考え直しました。私  
はどうしても地震といわれると過去の事であ  
ったり、遠いどこかの事だと思っ  
てしまいま  
す。どれだけ近年地震が起きるかも知れない  
といわれても、今の日常が変わるとい  
う事が  
考えずらいし、絶対に起こるとい  
う正確さも  
ないからこそ、このイメージはく  
つかえりに  
くいと思います。それでも  
多くの人  
が亡くな  
ったその事だけでも絶対に忘  
れないとい  
う事  
を意識し続けるのが今の私  
ができる事ではない  
つかも、と身近な事だと理解する  
ための第一  
歩だと思  
いました。

神戸海星女子学院小学校

忘れないうために

今日の震災講演でたくさん  
のことを学びました。特に「  
経験していかなくても、色々  
な人に記憶をつなげていか  
なければならぬ」というこ  
とを心に留めました。

阪神淡路大震災を経験して  
いない私達かですることも  
たくさんあります。しあわせ  
運べるように「を歌いつづ  
けたりすることならできま  
す。また、このような機会に  
話しても

神戸海星女子学院小学校

らったことを覚えていたら  
伝えることができません。

今日学んだことを全てをた  
くさんの人々に伝え、つな  
げていきたいです。

震災公演会とうけて

私は、震災公演会を受けて、心に残ったこと  
があります。

それは、「阪神淡路大震災を、私たちが語  
りつづけていくこと」です。私たちは、阪神淡

路大震災のことを表面的にしか知りません。命  
を見つめる責任を、つなぐ、継ぐこと

を大事にして、1995年1月17日午前5時に起  
きたことを絶対に心に留め、一日一日を過して

いきたくと田心いませ

神戸海星女子学院小学校

震災講演会で学んだこと

私は今日の震災講演会を聞いて、「伝えていくことの大切さ」を改めて実感しました。今はまだ被災者の方かいるけれど、その方々も人間なのでいつかなくなってもおかしくないし、確実に100年後にはなくなっていると思います。今、私達が伝えていかないといつかはなかつたことになつてしまいかもしれません。そうならないために、そして被災された方々や震災で亡くなられた方々のためにも震災のおそろしさや備えることの大切さを伝えていきたいです。

神戸海星女子学院小学校

震災講演会を聞いて

私は今日、多倉さんと三好さんのお話を聞いて、すごく心に残ったことかあります。それは、小学二年生でお母さんを亡くした子の話です。もし今、お母さんがいなくなったら悲しいどころじゃありません。そうならないためにもしかりと備えようと思われました。そして、私に子供ができて母親という立場の人になっても、この悲しい出来事はしっかのりと言語継いでほしいです。そのためには、次の世代に伝えるというのを大事にしようと思いましたが、内容は重いですか目をそおけないで、自分事のように考えていきたいと思えます。

震災公演会を聞いて

私は、公演会を聞いて、「忘れなさい」ということを大切にしたいと思いました。私達は大きな地震や災害を体験した事はありません。だけど、見たこと、聞いたことを絶対に忘れずに災害に備えていきたいです。また、大きな災害がもし起こったとき、つらい思いや、悲しい思いをしている人に少しでも寄り添って、元気とはげましをあげられるような人になりたい。

神戸海星女子学院小学校

りたい、と思いました。  
これからも、今回の公演会で学んだことを忘れずに、毎日を悔いなく過ごしていきたいです。

震災講演を聞いて

私は今日、震災講演を聞いて改めて平和な日々をおくる事は幸せな事だと思いました。

1995年1月17日午前5時46分に阪神淡路大震災、2024年1月1日に能登半島地震が起こり、この2つの大震災で火事や建て物がこわれ沢山の方々が犠牲になっ、てしまいました。だから、「しあわせ運べるように」の歌詞にもあるくなく、た方々の分も毎日を大切に生きていきます。

神戸海星女子学院小学校

こゝという事を心にとめて中学に進みたいで